

2023年度 関東ユース審判研修会 参加報告

茨城県サッカー協会
3級審判員 宇野航生
3級審判員 田代久峨

- 1 大会名 2023 NAIKE ANTLERRS CUP U-12
- 2 期 日 2023年9月16日(土)、17日(日)、18日(月)
- 3 会 場 茨城県神栖市ジャーニーロードグラウンド(ジャーニー土合、ジャーニー太田)
- 4 参加者 都県審判員16名 指導者4名
- 5 研修所見

(1) 3級審判員 宇野航生

ア 研修に臨むにあたっての目標

目標は3日間、自分のベストを試合で発揮して他県の仲間たちのレフェリングを見て学べることを吸収して自分を少しでも成長出来るようにすることです。

イ 審判活動の実践でうまくできた事

良い角度でポジショニングを取れた事と予測をした動きを取れた事、どんな選手でもコミュニケーションを取れたことです。

ウ 実践をとおして新たに発見できた自己の課題

争点との距離感とペナ付近とミドルゾーンでの動き方。

エ 仲間との交流をとおしての感想

なかなかこのような高校生だけで交流出来る機会はなかなか無いので参加する前からワクワクしてました。いざ、会って見ると緊張でなかなか話せなかったけど、初日の夕食前までの自由時間でとても部屋の人達と仲良くなれ最終日には少し寂しいと思えるような仲になれて良かったです。また、他県の審判活動の状況やある事象で困難した試合を共有する事が出来ていろいろ刺激を頂きました。今後の審判活動で会える日が来ることを楽しみにしています。3日間ありがとうございました。

オ 全体的な感想

まず、今回このような関東ユース審判員研修会を開催していただきありがとうございます。この3日間は自分の最高のレフェリングを発揮出来るように日々のトレーニングを行い挑みました。だが、3日間の全ての試合にてベストのコンディションで行えなかった事に悔しいですがその中で自分がやれる最低限の事は出来たと思います。このような状況の中でも指導者の方から、こんなような状況でも上手に見える方法の引き出しを貰ったことで少しでも良いレフェリングが出来ました。今回、学んだことを今後の自分のレフェリングに生かしていきます。本当に3日間お世話になりました。

(2) 3級審判員 田代久峨

ア 研修に臨むにあたっての目標

今まで試合で積んできた審判スキルを存分に発揮できるようにする。

他の参加者とのコミュニケーションをとり、今後、同じような志を持つ仲間を増やしたい。

イ 審判活動の実践でうまくできた事

運動量は試合終了まで全力で走りきることができた。もう一つはポジショニングが試合を通していい視点から多く見れていたと思う。

ウ 実践をとおして新たに発見できた自己の課題

ファウルがあった瞬間から距離をとるマネージメントがすぐにできるようにする。カードの適用が上手くできなかったので、視野を広げて1つ前のプレーから選手の位置を把握しておく。

エ 仲間との交流をとおしての感想

同じ目標を持っている仲間たちとたくさんコミュニケーションをとれたことで、自分も今まで以上に頑張らないといけないという良い刺激になった。

オ 全体的な感想

私は将来プロ審判員を目指しています。まだ高校1年という経験が浅い自分にとって、初めての宿泊合宿での研修会は、今後の審判人生にとって忘れられない経験になりました。

当初は、補欠での参加ということでそれ程多くの経験はできないのかと思っていましたが、実際に参加すると、上位決定戦に出場させていただいたり、同世代の仲間と交流することができ、人間としても成長できる素晴らしい機会になりました。

ご指導いただいた指導者をはじめ、関係者の皆様、ありがとうございました。



県参加者：前列左から4番目、後列左から6番目

なお、本研修は12月の「全日本U-12サッカー選手権大会」に関東から派遣する審判員6名を絞り込む位置づけであることを申し添えます。（文責 育成担当 高山浩樹）